

## 特集

ミステリーからSF、時代小説まで

# 10連休に読破したいあの大作

ブックガイド

物語の世界にいつまでも浸っていただける

「大河小説」

末國善己

6

かくも壮大なロマンに酔う、中国歴史もの／

ベテランも若手も元気な「文庫書き下ろし」シリーズ／

終わらない謎の連鎖！ ミステリーの傑作／

SF、ファンタジーで、壮大な世界観にとっぷり浸る！／

何十年もかけて紡がれる「大河小説」の雄大さ

22

厳選！ P H P 文芸文庫のお勧めシリーズ



87 WEB文蔵

202 筆者紹介

206 文蔵バックナンバー紹介



169 第二回 徒然草エッセイ大賞 大賞受賞作品

142 宮本昌孝

あまさか  
天離り果つる国<sup>くに</sup>⑫  
佐々近穂と尾山城に赴く氏理。しかし家臣団には不審者が紛れ込んでいた。

190 山本一カ

どぜう その七 猷<sup>けん</sup>残屋佐吉御用帖<sup>やく</sup>⑩  
家を差し出すことになった母娘を助けるために、佐吉が考えた腹案とは。

26 宮部みゆき

だんまり用心棒 その四 きたきた捕物帖<sup>とつ</sup>⑩  
差配人の富勘が攫われた。おまけに身代金を強請る投げ文まであり……。

88 小路幸也

三兄弟の僕らは⑧  
ついに語られる母と祖母の不仲の訳。初めて聞く家族の事情に朗達は……。

56 西條奈加

六つの村を越えて髭<sup>ひげ</sup>をなびかせる者⑧  
アイヌの男と交流していた徳内は、松前藩士に目をつけられてしまうことに。

連載小説

116 梶よう子

由蔵<sup>よしぞう</sup>覚え帳(終)  
喜多村と間宮林蔵が繋がっていた。清次を殺めた者の素顔も明らかになる。

衝撃の最終回!